

70 ある若者？集団へのエール（期待）！見失うな！折角の縁と可能性！

堂本 彰夫

(1) 「相談役と語ろう！」こんな時だから実現した？オンライン会議（面談）！

ところで、長く、憂鬱な日々は、まだまだ続いている！否、最近、さらに、その深刻度が増している！そして、政治・経済の大混迷はともかく、各職場（学校を含む）においては（公務員組織であろうが、民間事業所であろうが）、通常の職務・業務の停滞（減退？）は、想像以上のものであろうことは言うまでもない?!こんな事態が、これほど長期間に亘って、しかも全世界的に進行しようとは、まさに誰もが思っていなかったであろう！生活環境（衛生状態）も、飛躍的に改善され、医療技術や体制の進歩も、本当に考えられないほど顕著なものとなっているわけであるが（一部の国々を除いて?）、それらをもってしても、このような状態なのであるから、本当に、ウィルスというものは恐ろしいものである！

そんな中、「教育協働」というスローガンを掲げ、新たな関係・しくみづくりの重要性を説いてきている私ではあるが、まさしくそれどころではないという現場の窮状（いつ終わるとも分からない感染対応・対策、漂う疲弊感や無力感?）を見るにつけ（多くは、想像上のそれでもある?）、やはり多くの関係者にあつては、「今は、それをやっている余裕などはない?!」ということであろうと、独り得心している状態でもある！しかし、だからと言って、「何も出来ないわけではない?!」という思いも、一方であり、何か、今の（まさしく暇な?）自分でも出来ることはないか?少しでも役に立つことがないのか?そんなことを思ったりしてきたわけでもある！

そこで始めた（思い立った）のが、標記の、「県立玉城青少年の家」の職員（若手?スタッフ）との「相談役と語ろう！」という、オンライン会議（面談）である！これまで、「相談役」とは言うものの（一応「辞令?」は頂いている!）、ほとんど公式には、その務めを果たしていない私であるので（原因は、もちろんコロナ禍による!）、何かそれに相応しいことを求めていたわけでもある！幸い、このオンライン会議（面談）は、月に一回行っている、例の「教育協働セミナー」の経験（実績?）もあるので、その延長でやれるということにしたのである。

現在、5人のスタッフと、それぞれ別個に（日時を違えて!）、1時間程度（結果的にはそれ以上かな?）、いわゆる「リモート面談」方式で、それを行ってきたが、予想以上に、私の問いかけに前向きに答えてくれたり、自分から進んで、質問や話題提供をしてくれたり、逆に、私の方が、いろいろなことを知ったり、刺激?をもらったりしているような塩梅である！何か、私の大学教員時代の、学生との交流のような気もしないではないが、彼らも、何故か?好意的に受け止めてくれているようでもあり（一応、大人であるので?）、やはり、これを始めてよかったのかもしれないと、本気で思っている次第ではある（ただし、彼らの本音のところは、どうなのかは分からない?付き合ってくれているだけかもしれない?）！

ちなみに、多少無理強いしたようにも思うが、私のHPとリンクしている「教育協働ネットワーク～岳陽～」（旧「イノベーションNext+」のHP）のブログコーナーに、彼らの（一部の）声?が示されているので、そちらの方にも、是非アクセスしてみたい（そして、何かコメントを掲げていただければ幸いである!）。いずれにしても、こんなことが出来るなんて?そして、他ならぬ、この私が、このような手段で、このようなことが出来るなんて?、時代は変わったものである！しかし、それもこれも、あの憎き新型コロナウィルスのお陰なのでもある！何と言う皮肉?なのであるか?!

(2) 若者達?に去来している様々な思い、そして悩み?でも、それはある意味当然である?

ということで、ひょんなことから、玉城青少年の家の、若い?スタッフとの面談（交流）をもったわけであるが、必ずしも、その成果が、こちらが待ち望んでいるような形で実現しているかは、残念ながら、何とも言えない?あくまでも、面談（交流）は面談（交流）であつて、彼らの、実際の日々の職務や人間関係に、直接反映されるわけではないということである（多少の情報は得ている!いい意味で、変わったという人もいるようではあるが?）?!それはそうであろう!たった一回の面談（交流）で、そんなことが実現されるならば、これほど簡単なことはない!自惚れも、甚だしいということである!

まあ、これについての真偽は、これ以上は分かりようもないのであるが、要は、私には分からない?、また別の（隠された?）悩みや課題意識があるということだけは確かであろう?仕方がないが、そういうことでもあるであろう?!しかし、冷静に考えてみると、彼らの、今の仕事（立場）は、ある意味では、偶々出くわしたもの、あるいは取り敢えず得たもの、そういうものではあろう?!だから、その職場（あるいは人間関係?）にある大きなミッション（役割期待）とか、それに関わる組織・スタッフ間の合意事項の了解度合いは、自ずと違ってくる?ましてや、そこに至るまでの人生経験（家族歴や学校歴を含む）の違いは、人数規模が小さいということもあつて、彼らの人間（同僚）関係を強烈（ある部分は濃密?）に規定していることであろう?!

つまり、そこにある人間（同僚）関係は、良くも悪しくも全面的なものとなり（つまり、顕在化し易くなるということであるが!）、それが良い時には、物凄いチームワーク（結束力）を発揮するが、悪くなった時には、逆に、

かなりのギクシャクや不信感？を生むということである?!下手をすれば、組織全体を大きく揺るがすものともなる?!お互いが、少人数で、互いの距離が近いという理由での反目や不協和音は、ある種の間人社会の宿命でもある(そういうケースを、私は多々見てきた!)?! 実、他ならぬ「家族」も、そうした潜在的危機を有していたりもする?!本当に、難しいものである!

ここでは余談とはなるが、それを緩和(脱?)するための方法は、それぞれが、また別の紐帯や関係を有しているということである(家族も含めて!)!例えば、趣味やボランティア活動等が、その場(機会)ともなる?!要するに、そこ(職場)が唯一の紐帯であり、そこでの関係が全てということになれば、いつしか身動きが取れなくなったり、自分達の状況が、ある種の客観性をもって見られなくなったりすることにもなるのである!よく「ガス抜き」とか、「気分転換」が必要だとか言われるのは、多分に、こうしたリスクを回避するための英知でもあるのであろう?!

とは言え、こうしたことは、大なり小なり、どこの職場・活動組織においても起きることであり、今の彼らが、実際、どのような状況となっているにしても、一度は(あるいは毎年?何故なら、メンバーが入れ替わるから?)くぐり抜けなければいけない試練でもあるので、それはそれで、今の状況を見守っていく他ないであろう!

(3) 改めて、彼らに、何を望むのか?まずは、自らの人生をどのように位置づけているのかである?!

以上、ありきたりの「組織論?」みたいなことになってしまったが、当然、今回、このようなことを、個別・特殊事例的に書き上げることが、直接の目的ではない!今後の「NPO法人」や「一般社団法人」が、これまでの「公務員組織」や「民間組織」を、ある意味超克して、当該の地域社会でしっかりと根づき、そして、そこで仕事・活動を行う人達が、生計も立てられ(これは絶対に必要なことである!)、そして、自らの願いや使命感を発揮出来るようにするには、どうあればよいのかということ、私なりの願い(期待)として書いておきたいということである!

もちろん、既に、そうした事業・活動を展開している人達にとっては、私の願い(期待)などは不要であり、大きなお世話でもあろう!しかも、そんな理想論(甘言?)では、この厳しい現実を乗り越えて(勝ち抜いて?)いくことは出来ないという人も、多々いることであろう!それはそれで、よく分っているし、そう言われることは、ある意味甘受しなければいけないと思ってもいる!しかし、それでも私は、ここでは(最後かもしれないので?)、その理想論?を書き記しておきたいのである!

そこで、改めて、その私の理想論?を述べると、一言で言えば、「その事業・活動に、自らの人生をどのように位置づけているのか?」ということである!いきなり大仰なことを言うようであるが(しかも他人に対して!)、結局は、そういうことなのではないかと思うからである?!仕事であれ、人間関係であれ、そこに、自らの「生の意味(何のために、それをやっているのか?)」が組み込まれていないのであれば、力強さ(したたかさ?我慢強さ?)は生じて来ない?申し訳ないが、そこにいる動機やきっかけが、偶々であったり、他者からの誘いであったりしている場合は、その部分(段階)には、到底到達できないということである!

しかし、である!実は、このことを、本当は言いたいのであるが、最初から、そうした思い(境地?)に立てる人は少ない(否、いない?)ということである!何を言いたいのかというと、そうした思い(境地?)は、実際は、そこで働いてみて初めて出てくるものであり、しかも、それは、そこで働いている先輩(年齢自体ではない!)や、そこで出くわした、他の職場や活動団体の人達の仕事ぶりや考え方から感じ(学び?)取るものでもあるからである(反面教師的な部分も含めて?)?!だから、それには、一定の時間が必要だということでもある?!

ただし、それでも、彼らが、自らの思いや価値観とは違ったものであり続けるなら、それは、また別な場所・関係を求めるものであるとは言えるであろう(「縁」がなかったということであり、それは、単なる逃げや怖気?ではない?)?!それが、何回続くのか?ということもあろうが、そのこと自体は、誰にも分らないし、数が少ない(変わらない?)方がいいとは、必ずしも言えない?!最初が良い(出会い)とは、限らないということである!

とにかく、ここでは、「見失うな!折角の縁と可能性!」ということである!自分のことを言うのも、多少の気恥ずかしさはあるが、まさしく私も、そのようであったということである!ただし、それが、ある意味当然であるが、必ずしも、いいことばかりがあるということではない!むしろ、そうではなかったことを夢想したりもしたのである!人生、そう甘いものではないということでもあるが、それでもなお、今改めてそう言えるのは、そう言うしかないということであり、人は、そのことに対して、自らが納得する(決着をつける?)他ないということである!

かなりの情緒論ではあるが、改めてここで言いたいことは、そういう状況(人生)の中で、「折角の縁と可能性」がある(と思える!)のであれば、是非それを信じて頑張るって欲しいということであり、全部とは言わないが、そこに残った人々が、ある時は歯を食いしばって(ある意味我慢もして!)、そして、ある時は、気を許し合える仲間と一緒に、精一杯の喜び(笑い?)を出し合っていて欲しい!たとえ、今現在は、自分を見失ったり、やっていることに不安や不満を感じたりしていても、やっていけば、必ず何かが生まれるし、その次が待っているのでもある!当然、やらなければ、その次はないということでもある!頑張れ!思いのある若者達!